

創造

JA いけだ

CREATION

今月の表紙写真は、8月18日に清見農村公園（ワイン城横イベント広場）で開催した「組合員交流会」で、北海道池田高等学校吹奏楽部の皆様に「ダンブレ」を披露して頂いた時の様子です。詳しくは2, 3ページをご覧ください。



CONTENTS

- * 4年ぶりに
組合員交流会を開催！
- * 21NEWSアラカルト
- * コンプライアンス研修会開催
- * 金融共済課より
- * JAグループ通信
- * 営農部通信
- * 畜産部通信
- * 今月の1枚
- * 理事会の動き
- * 編集後記

2018.

9
SEPTEMBER

No.105

4年ぶりに組合員交流会を開催!

～総勢431名の組合員とその家族が親睦を深める～



8月18日、清見農村公園（ワイン場横イベント広場）にて、組合員交流会を4年ぶりに開催し、総勢431名の組合員とその家族が親睦を深めました。開会にあたり、鈴木雅博組合長が「北海道命名150年、池田町開設120年、当JAは新設30年の節目を迎える。地域を超えた組合員同士の交流が地域農業を守ることに繋がる。今年は曇天が続く農作物には心配も多いが、今後の天候や生育の回復に期待したい。」と挨拶を述べられた後、来賓の勝井勝丸池田町長より祝辞を頂き、福田秀利部会長会長の乾杯で交流会が開始されました。

交流会では新規就農者・後継者・新入職員の紹介、ビンゴ大会や部会対抗による〇×クイズなどのゲームを行い、食品加工サークルむぎ畑が作った「ど味噌」をタレとした「ちゃんちゃん焼き」や焼肉を堪能しながら親睦を深めました。

また、地元の北海道池田高等学校吹奏楽部によるダンプレ（ダンスアンドプレー）の略で演奏しながらダンスするパフォーマンスの披露を頂き、会場は大いに盛り上がりを見せ、最後は武田茂代表監事の三本締めで閉会致しました。

交流会前から参加取り纏め等にご協力頂きました部会長の皆様、前日に「ちゃんちゃん焼き」を準備して頂きました女性部の皆様、当日、炭の火お越し・片づけにご協力頂きました青年部の皆様、また、関係機関の方々のご協力により盛会のうちに終えることができました。た事をお礼申し上げます。

（記事・営農部営農課 杉山淳史）

来賓の方々
写真左より、勝井勝丸池
田町長・神谷充雄前組合
長・農業改良普及センター
戸叶吉昭主査



鈴木雅博組合長の開会挨拶

北海道池田高等学校吹奏楽部による「ダンプレ」



福田秀利部会長会会長による乾杯

部会対抗〇×クイズ



食事をしみながら
親睦を深める

子供たちによる
魚釣りゲームの様子



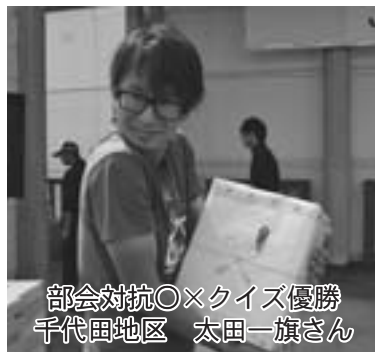
新規就農者・後継者の紹介



武田茂代表監事による
閉会の挨拶



ピンゴ大会優勝
東台地区 清水宏真さん



部会対抗〇×クイズ優勝
千代田地区 太田一旗さん



JA中札内村直売所前にて集合写真

女性部

池田町農政協
女性部研修会

8月7日に池田町農業構造政策推進協議会主催による、池田町女性農業者向けの研修会が開催され、JA十勝池田町とJA十勝高島の2JAの女性部で研修して参りました。

中札内村で一日研修となり、最初はJA中札内村の枝豆工場を見学させていただきました。当日は枝豆の他にいんげんもラインが動いており、収穫は3交代、工場は2交代で24時間稼働（うち2時間は清掃）していると聞きました。中にはベトナムの実習生も20人程受け入れているそうです。畑での収穫開始後、工場に搬送し、液体窒素フリーザーでマイナス196℃で冷凍し、自動計量箱詰め作業まで3時間以内に済ませるというルールがあります。これは色や味など鮮度が落ちるのを防ぐために決められたルールです。また、機械ではじかれ製品にできない枝豆や葉っぱなどは家畜のエサや堆肥となり、この工場では残さ物が出ないということに驚きと感心をしました。

昼食をポロシリで済ませた後は、十勝野フロマージュでDVDを見ながらチーズが作られる行程の説明を受けました。またチーズの試食もさせていただき、みなさんお好みのチーズを売店で買うことができました。最後に花畑牧場でお土産も買うことができましたし、中札内直売所や十勝野フロマージュで、えだまめソフトやジェラートソフトも食べられ、お腹も満ち、良い勉強にもなりました。

（記事・営農部営農課 豊原英梨）

こだま会

こだま会一日研修

7月31日に会員9名の参加にて、こだま会一日研修を開催しました。会員から「お花を見に行きたい」との要望により中札内村での研修となりました。まずは道の駅に向かい、最終日でありました道の駅ガーデンでお花を見学したり、ジェラートソフトを買って食べました。この日は33℃となった真夏日でしたので、冷たいアイスが喉を通るのが心地良かったです。

その後花畑牧場での工場見学を行いました。残念ながらチーズやお菓子を作っているところは見られず、花畑牧場ショップでお土産を買うことにしました。昼食は併設されているラクレットカフェにてチーズ三昧の料理をいただきました。

昼食を終えた後はピータン農園にてお花の見学やたくさんの質問などをして、立ち会っていただいた柴田さんと楽しく交流をすることができました。中札内村の中で柴田さんは花植えの先駆けであり、道の駅ガーデンを開く際にもどのように展示したらきれいに見えるかアイデアを出し活躍されています。今は引退して家の周りに花を植えて育てたり、7月1日からスイートコーンを茹でて販売したりしています。スイートコーンをその時期に販売できるのはなぜか聞くと、2月末に種まきしていることや、いちごをやっていた時のボイラーを使って暖かくすることができるので早く収穫ができるそうです。

当日は暑い中、熱中症にならないよう水分をこまめに取りながら過ごしたので、体調を崩される方もいなく、無事帰路に着きました。

（記事・営農部営農課 豊原英梨）



道の駅なかさつないでの集合写真

青 年 部

夏 期 研 修



ヤンマーアグリジャパン出展ブースにて、研修の様子

7月13日に帯広市北愛国交流広場で開催されていた「第34回国際農業機械展in帯広」にて夏期研修会を行いました。

国内外から134社が出展した今回の農業機械展は「ICTとともに更なる未来へ」をテーマに情報通信技術による無人化や生産性を向上させる最新の

農業機械が数多く見受けられました。

青年部ではヤンマーアグリジャパン出展ブースにて、ロボットトラクターなどのICTを駆使した最新技術の研修を受けさせていただきました。日本の農業が抱える後継者不足や耕地面積の大規模化といった課題がある中、ICT導入による省力化・効率化は、これからの農業には欠かせないものになっていくかと思います。

同日夜には、懇親会を開催し、各々研修で学んだことや普段の農作業について意見交換をしたり、とても有意義な研修になったのではないのでしょうか。（記事・青年部副部長 安富貴昭）

営 農 課

30年目を迎える
収穫体験

8月23日、様舞地区・増野さんの圃場で、池田カトリック幼稚園の園児16名が馬鈴薯（メークイン）の収穫を行いました。「子供たちが農作業に触れる機会を作ってあげたい。」という池田カトリック幼稚園の神父さんの思いに、「子供たちが喜んでくれるなら。」と増野さんが呼応し始まったこの取り組みは、今年で30年目を迎えました。

園長先生が、「みなさん力いっぱい掘りましょう！」と声をかけると、園児たちは元気よく「はい！」と返事をし、畑に駆けて行きました。収穫が始まると、園児たちはショベルを使って一生懸命に土を掘り馬鈴薯を探していました。収穫中は、「わー大きい！」「たくさんある！」「こっちのも大きいぞ！」と楽しそうな声が飛び交い、たくさんの馬鈴薯を袋いっぱい詰めて収穫が終わりました。園児たちは、「明日これで芋団子つくるんだ！」と喜んでいました。子供たちにとって貴重な体験になったことと思います。

（記事・営農部営農課 杉山淳史）



収穫の様子

設立総会の様子



畜産課

牧草機械利用組合設立総会

8月14日、28名出席のもと、標記総会が開催されました。本組合は、第7次農業振興計画で掲げております「草地更新3ヵ年運動」の一環として、JAが草地更新に必要な機械をリースにて導入、利用組合内で管理し、牛馬を飼養する組合員の皆様に共同利用していただくことを目的に設立されました。

総会では組合長に宮前裕治さん（和牛生産組合組合長）が選出されたほか、利用規定や利用料などが決議されました。導入機種については、事前に各生産組織代表者の皆様と開催した選定会議と現地視察を経て決定した「牧草播種機（グラスシーダー）」・「簡易更新機（ショートディスク・グリーンドリル）」・「K型ローラー」の3点で、8月下旬より利用開始となります。

（記事・畜産部畜産課長 米川 武）

畜産課

十勝地域組合員総合支援システム説明会

8月14日、4月より運用が開始されている、標記システムの説明会を開催いたしました。当日は十勝農協連の方を講師にお招きし、30名の畜産農家の皆様にご参加いただきました。

本システムは、現在FAXにて提出いただいている農作物・飼料作物の生産履歴や、牛の出生などの報告がスマホから行うことができ、他にも組織データや自宅に届いたFAXの内容が閲覧できる機能などもあります。ご利用にあたっては申請が必要となります。まだ登録がお済みでない方は畜産課が農産課までお問い合わせ下さい。お忙しい中、多くのご出席ありがとうございました。

（記事・畜産部畜産課 岩城 諒）

支援システム説明会



大会に参加した農協友の会の皆様



農協友の会

管外親睦パークゴルフ大会を開催

農協友の会（会長宮前松春さん）は、7月24日、25日の日程にて、管外親睦パークゴルフ大会を開催いたしました。24日は留辺蘂町の八方台森林公園パークゴルフ場、25日は置戸町の置戸パークゴルフ場の豊かな自然や木々を活かした魅力ある8コース、72ホールにて、天候にも恵まれ暑い中、熱いプレーを行いました。

初日競技終了後は、温根湯温泉大江本家で汗を流し、親睦を深めるために懇親会を開きパークゴルフなどの歓談で盛り上がりしました。置戸での競技終了後は、陸別で表彰式を行い帰路につきました。参加された皆様、大変お疲れ様でした。成績は以下の通りです。

優勝：横田 保 則 さん 準優勝：神 谷 充 雄 さん

（記事・管理部長 花本 敦）

初めて避難訓練に参加した
佐藤職員の初期消火



管 理 課

「いざという時、大切な命を守れ！」 ～Aコープで火災避難訓練～

Aコープ利別店では、防火意識向上と災害時の避難行動を身につけるため、火災を想定した避難訓練を、8月4日早朝に実施いたしました。

訓練内容としては火災発生を想定し、火災報知器発報から火災発生確認、初期消火、消防・防火管理者への通報、お客様と職員の屋外避難までの一連の訓練を

行いました。また、営業時間前の訓練でしたので、他部署の職員を店舗内でお買い物をするお客様と想定して避難誘導も取り入れながらの訓練を行いました。

避難訓練は、実際の災害時にAコープ職員全員が避難通路やお客様の避難誘導が自然と出来るように、身に付くまで繰り返し行う事が必要と考えております。また、Aコープは食品・生活必需品を組合員、地域住民に供給することだけでなく、火災時にはお客様の命を守ることも、私達の大切な仕事と実感できました。

(記事・管理部長 花本 敦)



初期消火の結果を、部長へ報告

農 産 課

ブロッコリー試験栽培総括 ～鮮度保持フィルムに手応え～



本年度から実践が開始されました、第7次農業振興計画の中の新規作物の導入について、広報や農産部通信を通じまして報告しておりました、ブロッコリーの試験栽培が終了しましたので、報告させていただきます。

本年4月中旬に播種、5月中旬に定植作業を行い、7月中旬に収穫を行いました。4品種の試験を行い、6月の天候不順による生育停滞はみられたものの、病害の被害も少なく収穫することができました。

収穫物の品質では、4品種中2品種で茎に空洞が入っており、空洞が入ると一般流通が困難になります。本年は他産地でも同じく空洞が確認されており、7月に入り天候が回復し、急激な成長で空洞が入ったと考えられています。花の蕾の形や締りについては、各取引先からも、他産地と比較しても同様の品質と、高評価をいただきました。

輸送試験では、一般流通形態とは違う、鮮度保持フィルムを用いて輸送を行いました。結果は、鮮度保持フィルムの期待されている効果通り、変色及び腐敗が発生しませんでした。この結果から発泡スチロールに代わる梱包方法としての実現可能性が高まりましたが、冷蔵施設を伴わない場所・長時間常温に置かれる場所へは不向きなため、導入に向けては取引先との連携が不可欠となります。

来年度以降に向けて、改善しなければならない課題は多くありますが、作付に興味がある方や今年度の結果を詳しく知りたい方は、農産課まで連絡をお願いします。

(記事・農産部農産課販売課長 秋野健太)

管理課

コンプライアンス研修会開催

～コンプライアンス（ハラスメントの理解と行動の徹底）～

講師 北海道農業協同組合学校 町口正人氏



講師 北海道農業協同組合学校 町口正人氏

7月17日（火）農協大会議室において、コンプライアンス研修を全役職員対象に開催致しました。

今回の研修は、農協役職員としてコンプライアンス（法令遵守・社会常識や倫理）の必要性和重要性を再認識すること、日常業務を取り巻く規則・法令等のルールを常に意識して行動できる能力の開発を行うこと、事例や判例を通じてハラスメントの理解を深め、改めて人の尊厳・人格の大切さを知りハラスメントの起こらない職場環境と組織風土をつくることを目的として開催しました。講師は、キヤノン㈱で研修本部のスタッフとして研修の企画・開発と講師として後進の育成に従事していた町口正人氏を招いて研修を行いました。

JA役職員の社会的責任としての、コンプライアンスの三層構造「法令の遵守行為」「組織内のルールに則した行為」「個々人の誠実で倫理観に則した行為」の重要性和背景や、求められるコンプライアンス経営のメリットとしては、「JAを取り巻く関係者への信頼性を強めることにより」JAブランド構築と役職員の質的向上とモラルの向上になり、企業としての競争力アップに繋がる事。そのためには、報告・連絡・相談が機能する組織のコミュニケーションが重要となります。

ハラスメントの定義・心構えを事例により、ハラスメント行為が発生しない組織について、ハラスメントの組織内解決の意義と課題について学びました。町口講師より、真のコンプライアンスとは、「組織で働く一人ひとりが倫理観を持った人間として、自立と自律を意識し仕事に誇りを持ち、誠実かつ意欲的に働くための視点・観点を持つことである」とまとめて頂きました。

不祥事（ハラスメント）未然防止の為の「風通しの良い職場づくり」には、相談しやすい環境と信頼作りの土台となるコミュニケーション能力が重要であることの再認識をいたしました。今後も仕事に誇りを持ち取り組んでまいります。

（記事・管理部長 花本 敦）



研修の様子

金融共済課より

JA共済

～トラクターの安全運用のために、安全装備・日常点検と…～

JAの自動車共済

毎年多くの農作業事故が発生しています。
特にトラクターによる事故はその被害が大きく、受傷した人はもとより農家経営全体にも重大な影響を及ぼします。
トラクターの使用にあたっては日常の点検・整備を行い、事故を防ぎましょう。
また、どんなに気をつけていても発生してしまうのが事故です。事故に遭ってしまったときのためにJAの自動車共済に加入しましょう。

発生している事故の事例

事例 1 ご家族がトラクターの作業機に巻き込まれてケガをしました。



事例 2 田埂への昇降路で横転、下敷きになってしまった。



事例 3 農道で追越をしようとした後続車に追突された。



おすすめプラン

トラクターの運行中の事故により他人を死傷させてしまったとき、他人の車や物を壊してしまったときの保障。ご契約のトラクターに搭乗中の方（運転者を含む）への保障があり、ご安心いただけます。

共済掛金
(一時払)

新規
24,030円

1年間無事故の場合
継続契約の掛金
16,820円※

10年間無事故の場合
継続契約の掛金
11,530円※

※現在の掛金率で試算した場合。

●契約内容 (自動車共済：共済期間12か月 自動継続割引あり 事故有係数適用期間：0年)

等級：6D 等級

人身傷害保障条項：5,000万円

傷害定額給付条項：死亡1,000万円
治療共済金：倍額型

対人賠償：無制限

対物賠償：無制限(免責0万円・対物経通修理費用保障付)

(注)自動継続特約を付加するなどの所定の条件を満たす場合、共済掛金が2%割引されます。

※上記掛金は平成30年4月時点の共済掛金です。

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、

「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。

また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」

および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

※複数のトラクターをお持ちの場合は、全てのトラクターにご加入ください。

JA十勝池田町

本所 ☎015-572-3131

池田支所 ☎015-572-3132



【18019990010】

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会



11月開催の第29回JA北海道大会に向けて組合員の声を反映させるため、9月末を期限とする組織討議を実施します。原案には、前回大会で掲げたJAグループの将来ビジョン「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」に向けて、農業所得増大やサポーター550万人づくりの継続実施などを盛り込むほか、重要性を増す「協同組合の価値と実践」を新たに追加しております。

また、各JAにおける組織討議に加えて、組合員の皆さんから直接ご意見を提出いただけるよう、意見提出様式を公開しておりますので、ご提案を賜りますようお願い申し上げます。

JA北海道信連



8月に、JAとうや湖等の協力を頂き、小学生の親子を対象とした『旬食カレッジ in 洞爺湖』を開催しました。じゃがいもの収穫体験、地元産じゃがいもやミニトマト等を使った料理教室、JAによる講演等を実施し、道産野菜のおいしさや栽培のこだわりなど、食や農の大切さを伝えることができました。

参加者には、「食に対する関心が高まり勉強になった」「また参加したい」など好評でした。

ホ ク レ ン



北海道産牛肉を炭火焼きで楽しんでもらう「第2回北海道牛肉まつりinさっぽろ」が7月29日から8月1日の4日間、札幌パークホテル駐車場特設会場で開かれました。

このうち2日目の30日には「北海道産牛肉応援PR大使」でグルメタレントのアンジェラ佐藤さんが登場。北海道庁とホクレンの若手職員計5人を相手に「大食い競争」に挑戦し、会場から大きな歓声が上がりました。

JA共済連北海道



8月3日に札幌・共済ホールにて「全道LA・スマサポ大会」が開催され、平成29年度普及活動で優秀な成績を収められたLA22名と、スマイルサポーター15名が登壇し表彰されました。

JA共済では、これからも「3Q訪問活動」と「あんしんチェック（保障点検活動）」の実践を通じて組合員・地域利用者の信頼と期待に応え、「安心」と「満足」の提供に努めてまいります。

JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。

営農部通信

営農部
営農課



▶ 人間ドック後期取りまとめについて

9月1日付けでFAX及び郵送にてご案内しておりますが、再度広報にてご案内致します。
ご自身の健康状態を把握して頂くと共に、健康管理と病気の早期発見のため、年に1度は受診されますようお願い致します。

1. 受診対象者 正組合員または同居の家族
2. 基本料金 31,320円
3. 助成金額 下記表の通り

11月5日から新病院へ
移転しますのでお間違いないように！
詳細は案内文書をご覧ください

	農 協 助 成	池田町助成	個人負担額
30歳未満	11,000円	なし	20,320円
30～39歳	11,000円	5,724円	14,596円
40～74歳	11,000円	13,881円 ※1	6,439円
75歳以上	11,000円	11,624円 ※2	8,696円

※1：40～74歳（年度内に40歳になる方を含む）の国保加入者の方は、特定健診、詳細項目検査（貧血・心電図・眼底検査・クレアチニン）の助成（全額）があります。

※2：後期高齢者医療被保険者の方は後期高齢者健診の助成（全額）があります。

4. 実施日

男 性 (54名)				女 性 (30名)	
11月 6日 (火)	3名	12月 7日 (金)	5名	11月 9日 (金)	2名
11月 9日 (金)	2名	12月12日 (水)	5名	11月16日 (金)	3名
11月15日 (木)	5名	12月25日 (火)	5名	11月20日 (火)	2名
11月21日 (水)	5名	12月28日 (金)	5名	12月10日 (月)	3名
11月28日 (水)	3名	H31年1月4日 (金)	6名	12月13日 (木)	7名
12月 5日 (水)	5名	1月8日 (火)	5名	12月17日 (月)	5名
				12月25日 (火)	3名
				H31年1月7日 (月)	5名

5. 取りまとめ期日 平成30年9月18日 (火)

※希望日については申込順です。予定数が埋まった場合は別の実施日に農協で振り分けます。

6. 注意事項

①胃内視鏡検査・脳ドック・肺ドックにつきましては、1日に受診できる人数が決まっております。事前の予約申込が必要です。受診希望者は、厚生病院からの案内が届き次第、必ず受診者本人が厚生病院へ直接、電話にてお申込みください。

※申込の際に簡単な問診があり、農協から予約申込する事は出来ませんので、ご了承ください。

②受診希望数が多く、キャンセル待ちの方が多数おります。受診日に受診できなくなった場合には早めに農協か厚生病院まで必ずご連絡ください。

③例年、後期期間に受診希望者が集中する傾向があります。厚生病院からの受診枠が決まっている事や、他農協の組合員さんも後期期間に集中するため、受診できない場合があります。その際は、町で11月15日 (木)、16日 (金) に行う巡回ドックの受診をお勧めします。

④町の助成を受けて検診を受けられた場合は、検診結果が町へも報告されますことをご承知ください。

7. 申 込 先

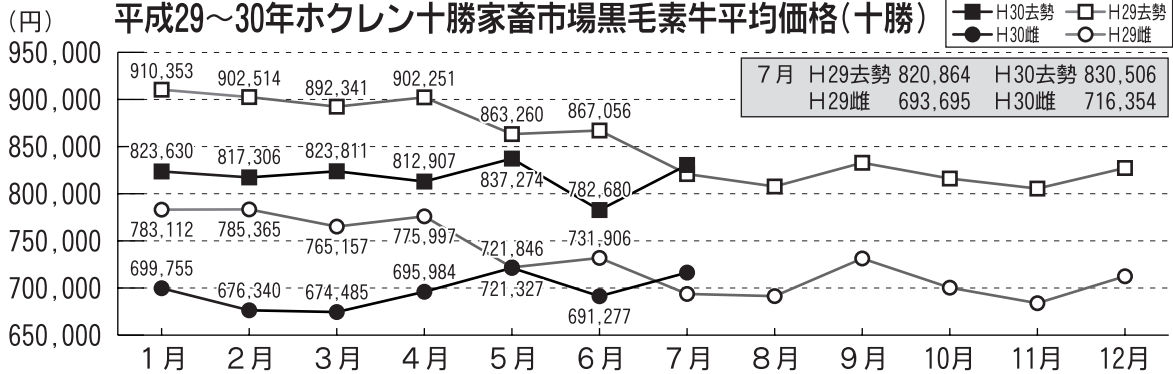
JA十勝池田町営農課までFAX及び郵送にて送付している申込書にてお申し込み下さい。

TEL 572-3131 FAX 572-3519



畜産部通信

畜産部
畜産課



7月黒毛素牛出荷区分別成績

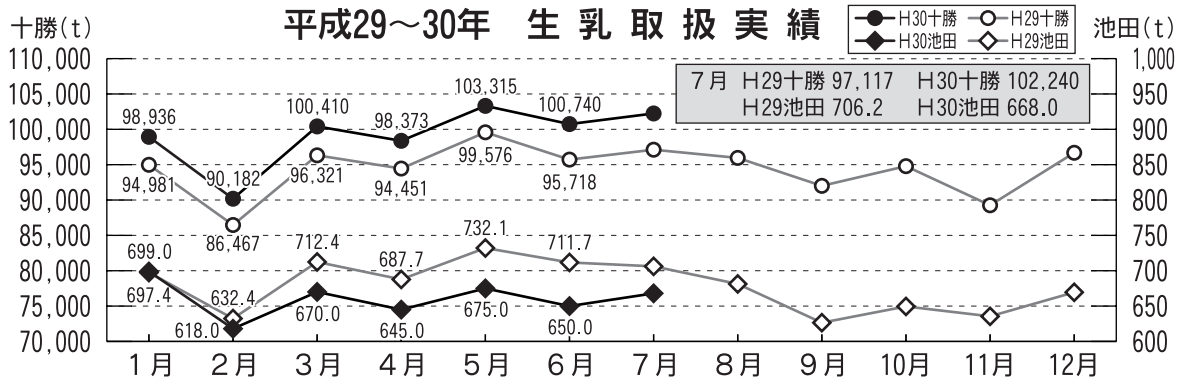
【金額(円)】

		取引頭数	平均価格(税込)	前月価格比	参加率・認定率
去勢	和牛素牛	795	830,506	47,826	
	マニュアル参加牛	462	832,967	42,743	58.1
	マニュアル認定牛	38	891,455	50,549	8.2
池田	和牛素牛	55	826,927	30,672	
	マニュアル参加牛	49	828,536	35,340	89.1
	マニュアル認定牛	5	926,208	106,128	
雌	和牛素牛	525	716,354	25,077	
	マニュアル参加牛	312	714,669	32,621	59.4
	マニュアル認定牛	7	730,080	-53,856	2.2
池田	和牛素牛	27	746,520	63,040	
	マニュアル参加牛	25	746,669	63,029	92.6
	マニュアル認定牛	0			

7月ホクレン十勝枝肉市場

【金額(円)】

開催日	区分	規格	平均単価(税抜)
7日 21日	黒毛去勢	A-5	2,418
		A-4	2,204
		A-3	1,963
	黒毛雌	A-5	2,423
		A-4	2,216
		A-3	2,008
	F1去勢	B-3	1,324
		B-2	1,310
	F1雌	B-3	1,366
		B-2	1,170



7月ホクレン十勝乳牛市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
2日	乳牛育成	509	509,705
18日	乳牛初妊	623	980,115
	乳牛経産	59	558,452

7月十勝中央家畜市場

【金額(円)】

区分	平均価格(税込)	前月比
乳牛オス初生	113,736	▲ 24,781
F1オス初生	295,755	▲ 7,800
F1メス初生	198,771	▲ 2,651
廃用牛	173,467	▲ 16,174

草地更新 3か年運動

草地更新のすすめ

パート4

今年の春、タンポポの黄色い花が例年になく目立ったかと思います。また、1番牧草が天候不順により収穫が遅れたことでギシギシも結実してしまい、種子による個体の増加も心配されるところです。いずれの雑草も草地にとっては生産性を低下させる厄介者で、除草剤による防除のタイミングは秋になります。これからは、収穫作業等で忙しいことと思いますが、計画的な作業で草地の厄介者を退治してください。

草地更新時の除草剤処理

- ① 牧草割合が低く生産性に問題があれば、完全更新する 対象：草地更新用地

タンポポやギシギシは根茎切片による繁殖力も強いので、除草剤ラウンドアップマックスロード等（グリホサート系）で枯殺する

10a当たり使用量 300～500ml（ラウンドアップマックスロード）

経年草地の除草剤によるギシギシ防除（秋処理）

- ① アーザラン液剤 10月上～中旬 対象：経年草地

10a当たり使用量 300～400ml

秋散布の場合は翌春枯死しませんが、1番草収穫後に枯死します

<注意> 最終採草後に行う。散布後14日間は放牧を行わない

- ② ハーモニー75DF水和剤 秋処理（採草21日前まで） 対象：イネ科単播経年草地

10a当たり使用量 3g

<注意> クローバに対する薬害が著しい。

散布後21日間は採草及び放牧を行わない。

本剤散布に用いた器具類は、タンクやホース内に薬剤が残らないよう使用後できるだけ早く専用の洗浄剤でよく洗浄し、他の用途に使用する場合、薬害の原因とならないように注意する。

- ③ バンベルD液剤 対象：経年草地（イネ科）

タンポポは完全に枯死しませんが、生育を抑制する効果が期待できます。

春にタンポポが目立った草地でギシギシ対策として使用してください。

牧草の最終刈取り後30日以内を目安に散布する

10a当たり使用量 75～100ml、水100L

<注意> マメ科牧草には薬害が生じるので、イネ科草地で使用する。

秋期に散布した牧草は使用しないこと。



草地に侵入したギシギシ



西洋タンポポ

理事会の動き

第 6 回

〈平成30年8月24日〉

★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の加入、脱退について
- (2) 組合財務の現況について
- (3) 小麦の受入状況について
- (4) 農産物の生育状況について
- (5) 平成30年産買い取り豆類の取扱について
- (6) 第29回 J A 北海道大会に関する組織討議について

★ 議 案 ★

- (1) J A 全国監査機構一般監査における監査結果について
- (2) 組合員の相続による出資金持分譲渡並びに新規加入承認願いについて
- (3) 生乳受託販売規程の一部改正について
- (4) コンプライアンス規程の一部改正について
- (5) コンプライアンス・マニュアルの一部改正について
- (6) 秋季地区懇談会の開催について

★ 協 議 案 ★

- (1) 信用事業運営等のあり方について
- (2) 生活事業のあり方について

今月の1枚



コンバインによる小麦収穫

今月の1枚は川谷2地区で撮影した、コンバインによる小麦収穫の様子です。

当 J A 管内では7月28日から収穫が始まり、8月6日に無事終了致しました。皆様大変お疲れ様でした。

今月の表紙写真にもあります通り、8月18日に4年ぶりとなる組合員交流会を開催しました。前日まで雨が続き大丈夫かな？と思っていましたが、当日は快晴となり無事開催することができました。当日の交流会の写真を広報の2、3ページに掲載していますが、当 J A のHPにも写真を掲載しておりますので、そちらも是非ご覧ください。

農作業事故にはくれぐれもお気を付けて下さい。

(杉山)

